

事務事業名	道路台帳管理事務		<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業	法令根拠	道路法
政策名	110	交通・情報のネットワークづくり	所属部門	経済部 建設水道課 管理係(グループ)	
施策名	218	道路交通網の整備	課長名	吉田正博	担当者名 嶋中利春 (内423)
基本事業名	44113	道路環境の整備	予算科目	会計 款 項 目 事業	土木管理事業
全庁共通課題	<input type="checkbox"/> 協働のまちづくり <input type="checkbox"/> 男女共同参画 <input type="checkbox"/> 食のまちづくり				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 全体計画の投入量を記入 (開始年度 年度 ~) (年度 ~ 年度)				

事業概要 道路及び橋梁の整備の完了により、等級ごと車道及び歩道並びに橋梁の延長・幅員及び構造の形態などを調査及び台帳図を補充作成し、町道に係る台帳を管理する。	全体計画 (単位:千円)	
	特定財源	
	一般財源	
	その他	
	事業費計 (A)	
	正規職員従事人数	
人工		
人件費計 (B)		
トータルコスト(A)+(B)		

1 現状把握の部 (DO)	
(1) 事務事業の目的と効果 手段(具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)	
16年度実績 道路・橋梁の台帳修正及び台帳を管理すると共に、住民等から要望があった場合にはコピーして配布、代金を収受する。	活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 実施路線距離 km イ コピーして渡した枚数 枚 ウ
17年度計画 16年度と同様	対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 道路 km イ 橋梁 橋 ウ
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 ・町道に係る道路及び橋梁の把握 ・宅地造成などによる道路構造の把握	成果指標(対象における意図された対象の程度)数字は記入しない 名称 単位 ア 道路整備率(舗装・改良・交安) % イ ウ
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 道路及び橋梁の台帳管理により、その構造など適正な維持管理が図れる。	上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 町道の管理の要望数 件 イ 住民へ提供した数 件 ウ
結果(どんな結果に結び付けるのか) ・町道の適正な管理運営が図れる。 ・住民への情報(資料)提供	

(2) 総事業費・指標等の推移																																																																																																																																																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>単位</th> <th>14年度(実績)</th> <th>15年度(実績)</th> <th>16年度(実績)</th> <th>17年度(見込)</th> <th>18年度(目標)</th> <th>19年度(目標)</th> <th>年度(最終目標)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>特定財源</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>千円</td> <td>3,465</td> <td>2,625</td> <td>2,572</td> <td>1,827</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費計(A)</td> <td>千円</td> <td>3,465</td> <td>2,625</td> <td>2,572</td> <td>1,827</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>正規職員従事人数</td> <td>人</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>人工</td> <td>年間</td> <td></td> <td>0.0212</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>人件費計(B)</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>196</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>トータルコスト(A)+(B)</td> <td>千円</td> <td>3,465</td> <td>2,625</td> <td>2,768</td> <td>1,827</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>活動指標</td> <td>ア km</td> <td></td> <td></td> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>イ 枚</td> <td></td> <td></td> <td>242</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>対象指標</td> <td>ア km</td> <td>913</td> <td>916</td> <td>921</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>イ 橋</td> <td>270</td> <td>270</td> <td>270</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>成果指標</td> <td>ア %</td> <td></td> <td></td> <td>100</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>イ</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>上位成果指標</td> <td>ア 件</td> <td></td> <td></td> <td>10</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>イ 件</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	単位	14年度(実績)	15年度(実績)	16年度(実績)	17年度(見込)	18年度(目標)	19年度(目標)	年度(最終目標)	事業費								特定財源	千円							一般財源	千円	3,465	2,625	2,572	1,827			その他	千円							事業費計(A)	千円	3,465	2,625	2,572	1,827	0	0	人件費								正規職員従事人数	人	2	2	2	2			人工	年間		0.0212					人件費計(B)	千円	0	0	196	0	0	0	トータルコスト(A)+(B)	千円	3,465	2,625	2,768	1,827	0	0	活動指標	ア km			5					イ 枚			242				対象指標	ア km	913	916	921					イ 橋	270	270	270				成果指標	ア %			100					イ			0				上位成果指標	ア 件			10					イ 件						
単位	14年度(実績)	15年度(実績)	16年度(実績)	17年度(見込)	18年度(目標)	19年度(目標)	年度(最終目標)																																																																																																																																																		
事業費																																																																																																																																																									
特定財源	千円																																																																																																																																																								
一般財源	千円	3,465	2,625	2,572	1,827																																																																																																																																																				
その他	千円																																																																																																																																																								
事業費計(A)	千円	3,465	2,625	2,572	1,827	0	0																																																																																																																																																		
人件費																																																																																																																																																									
正規職員従事人数	人	2	2	2	2																																																																																																																																																				
人工	年間		0.0212																																																																																																																																																						
人件費計(B)	千円	0	0	196	0	0	0																																																																																																																																																		
トータルコスト(A)+(B)	千円	3,465	2,625	2,768	1,827	0	0																																																																																																																																																		
活動指標	ア km			5																																																																																																																																																					
	イ 枚			242																																																																																																																																																					
対象指標	ア km	913	916	921																																																																																																																																																					
	イ 橋	270	270	270																																																																																																																																																					
成果指標	ア %			100																																																																																																																																																					
	イ			0																																																																																																																																																					
上位成果指標	ア 件			10																																																																																																																																																					
	イ 件																																																																																																																																																								

(3) 事務事業の環境変化・町民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か? 町道の整備及び維持管理の改策及び補修に係る道路及び橋梁形態の変化を把握し、適正な事業推進により、住民へ適正な道路・橋梁の状況の情報提供を図るため。	事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期と比べてどう変わったのか? ・宅地造成などの開発行為が増加し、管理すべき道路が年々増加している。
この事務事業に対して関係者(町民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか? 町民から道路台帳整備に対する意見及び要望は寄せられていない。	

2 評価の部 (SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価			
目的 妥当性 評価	政策体系との結びつき この事務事業の目的は町の政策体系に結びつくか？意図することが上位施策に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びつかない [理由] 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 結びつく [理由] ↷ 道路整備及び橋梁改築事業に対し、道路台帳図書は事業基準の採択条件の要因の判断材料となり、道路等構造の資料収集が図れ事業促進の向上を図る。	
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を町が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 手が引ける [理由] 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 手が引けない [理由] ↷ 芽室町の町道管理については、道路を管理する道路管理者が道路形態などの把握をすることにより、道路交通網及び道路環境の整備促進が図れることなど、公共性が高いことから関与せざるを得ない。	
	対象・意図の拡大又は縮小余地 対象と意図の拡大・縮小の余地はないか？(拡大による成果向上、限定・縮小による公的関与の適正化やコスト削減はできないか)	<input type="checkbox"/> 余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である [理由] ↷ 必要最小限の道路に係る車道及び歩道の舗装・改築整備の台帳図書である。	
	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がある [原因] 3 改革・改善方向の部へ <input type="checkbox"/> 余地がない [理由] ↷ 事業推進に係る採択基準の評価及び維持管理に係る道路形態の把握による補修方法並び住民への道路形態の情報提供など成果向上の余地はある。	
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無と有の場合の問題解決策	<input type="checkbox"/> 影響無 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 【具体的な影響】 ↷ 【問題解決策】 3 改革・改善方向の部へ 廃止することにより、道路形態の把握ができず、道路交通網に支障を期する恐れがある。	
有効性 評価	類似事業との統廃合余地 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合余地はないか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 上記他に手段等の統廃合が可能 3 改革・改善方向の部へ <input type="checkbox"/> 上記他に手段はあるが統廃合できない ↷ [理由] 類似事業が無く、統廃合余地は無い。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ↷ [理由]	
	全庁共通課題の貢献 全庁共通課題の解決に対してこの事業はどんな貢献をしましたか？	<input type="checkbox"/> 貢献した ↷ 【具体的に】 <input type="checkbox"/> 貢献していない ↷ 【全庁共通課題にもかかわらず貢献していない場合はその理由】	
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(工法の適正化など)事業費を削減した場合の影響の有無と、問題解決策	<input type="checkbox"/> 影響無 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 【具体的な影響】 ↷ 【問題解決策】 3 改革・改善方向の部へ 必要最小限の道路に係る車道及び歩道の舗装・改築整備の台帳図書であり、競争入札で落札した委託業者によって図書の作成がなされていることから、これ以上の事業費の削減の余地はないと考えられる。	
	人件費(業務所要時間)の削減余地 成果を下げずに所要時間を削減できないか？成果を下げずにより低賃金の担当者で遂行できないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 3 改革・改善方向の部へ <input type="checkbox"/> 不可能 [理由] ↷ 業務内容が競争入札で落札した委託業者によって図書の作成がなされており、積算及び契約に係る時間の短縮は難しい。	
公平性 評価	受益者負担の適正化余地 受益者負担と一般財源が公平・公正な配分になっているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 適正化余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部へ <input type="checkbox"/> 適正化余地がない [理由] ↷ 道路台帳でA3版以下が10円、A3版以上が300円の価格について、ガイドラインで定められた価格である。	

3 改革・改善方向の部 (PLAN)																		
(1)今後の事業の方向性(改革改善案) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) ・今後とも道路台帳の適正な管理が必要である。	(3)改革・改善による期待成果 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">成果</td> <td style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">向上維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上維持			×	低下		×	×
				コスト														
		削減	維持	増加														
成果	向上維持			×														
	低下		×	×														
(2)改革, 改善を実現する上で解決すべき課題は何ですか？それをどう解決していきますか？ ・道路台帳整備の予算の確保。																		